

第四十六回 武藏御嶽神社奉納俳句入選作品

応募総数 五百四十三句

選者 岡田日郎

奉納俳句選評

特選

一席 御師の里晴れて戸毎に懸大根
二席 神樂黒て霧に鎮まる御師の宿
三席 むささびの鳴き山頂の月の宿
四席 奥宮の嶺の尖りや初御空
五席 餅投げで終る神樂や秋の空

秀逸

爽穎の船のぼり来る遙拝所
花冷えの軒に薪積む御師の宿
茅葺きの御師の夕餉の零余子飯
秋灯下御簾の奥より笛太鼓
岩稜に沿うて御岳の白やしほ

参道に粉雪跳ねる御師が里
歩を止めて聴く邯鄲や御師の里
列拝の辞儀の衣擢れ秋の朝
長き夜や笛で始まる翁舞

大太鼓打ちて一山秋氣満つ
長き夜や笛で始まる翁舞

佳作
神域の外れに掛くる猪の罠
山の子の朝の早しよ木の実降る
奥の院雲の上なる落葉帰く
秋の夜や篝火に浮く新神樂
金風や文字新しき寄進札

朝拝に神鼓のひびく秋日和
紅白の餅頭上飛ぶ太太神樂
神域へ上る坂道夏蝶来
鉗押し開く扉や霜の駄
竿に干す白装束や秋高し

川口市 深谷区 松田圭子
中野区 渡辺花穂
世田谷区 伊藤伊那男
八王子市 横溝明美
狭山市 古谷多賀子
所沢市 遠藤康雄
豊島区 松代展枝
練馬区 武田禪次
小平市 吉田博子
渋谷区 倉田有希
立川市 堀江孝晴
川崎市 濱田ふゆ

選者吟 御師が里抜け道多し萩芒
昭和七年十一月三日生まれ。
福田蓼汀(りょうてい)の「山火(やまび)」に投句し、
昭和二十六年から編集を担当、蓼汀没後の平成二年
主宰となる。山と自然を称える山岳俳句を多く詠み、
五年「連嶺」で俳人協会賞。東京出身。学習院大卒。

佳作
神樂果て霧に鎮まる御師の宿
川辺幸一
青梅市 津布久信雄
羽村市 小次弘子
青梅市 西川素子
川口市 戸矢一斗
渋谷区 松田圭子
中野区 渡辺花穂
伊藤伊那男
横溝明美
古谷多賀子
遠藤康雄
松代展枝
武田禪次
吉田博子
倉田有希
堀江孝晴
濱田ふゆ

特選二席

神樂果て霧に鎮まる御師の宿

川辺幸一

【霧】は秋の季題。夜神樂が終わると参道は霧に包まれている。幽かに

透む外灯を頼りに一步ずつ踏みしめる。神樂の余韻が窺える。

特選三席

むささびの鳴き山頂の月の宿

乘田眞紀子

【月】といえば「秋の月」、我が国の「美の頂上」の一つ。どこかで「むささ

び」の声がし、山頂に月が昇る。夜更けの静かなひと時であろう。

川合深禮

日貴咩(ひきめ)神事

武藏御嶽神社あれこれ

武藏御嶽神社では昔、多くの神職さんによって「日貴咩(ひきめ)神事」が行われていました。「ひきめ神事」というと今でも多くの神

社で、節分行事の前に邪気を祓う神事として行われています。弓矢を使う神事で、矢を放つと、矢の先についた鏑に空いた穴を空気が通ることにより鋭い音がし、その音によつて邪を祓うと信じられています。

武藏御嶽神社で行われていた日貴咩神事というのは、主に病気の人に対する行うご神事でした。これを行うことによつて邪を祓うことができるといつても信じられていました。俗に言う「狐憑き」の憑きものを落とす神事としても考えられていました。

これから紹介するのは、「日貴咩神事次第順序」という印刷物に書かれた内容です。これが発行された年代はわからないのですが、武藏御嶽神社から発行された印刷物であるということで、武藏御嶽神社神職 秋山佳久氏よりお借りしたものです。

日貴咩(ひきめ)神事

川合深禮

日貴咩(ひきめ)神事

日貴咩(ひきめ)神事

日貴咩(ひきめ)神事

日貴咩(ひきめ)神事

日貴咩(ひきめ)神事



写真：現在二月下旬に、埼玉県比企郡川島町鳥羽井分社において行われている日貴咩神事の様子

特選一席

御師の里晴れて戸毎に懸大根 鈴木久美子
「懸大根」が冬の季題。大根は沢庵漬けにするため十日間位天日に干す。

丸太等で架を組むが、ここではそんな掛けかりでなく、一竿ほど庭に干している趣。御師の暮らしの一端。

特選四席

奥宮の嶺の尖りや初御空 杉原功一郎
「初御空」は元旦の空を崇めた言葉。遙拝所から拝する奥宮の、いつもいかにも楽しそうである。

尖つて見える嶺も年が改まるとなな掛けかりでなく、一竿ほど庭に干おさら莊嚴さが漂う。

特選五席

餅投げで終る神樂や秋の空 麻生ミドリ
御嶽神社に伝承されている太太神樂、最後にお餅が振舞われる様子。

いかにも楽しそうである。

特選四席

奥宮の嶺の尖りや初御空 杉原功一郎
「初御空」は元旦の空を崇めた言葉。遙拝所から拝する奥宮の、いつもいかにも楽しそうである。

尖つて見える嶺も年が改まるとなな掛けかりでなく、一竿ほど庭に干おさら莊嚴さが漂う。

第四十七回 奉納俳句募集要項

第一、作品は未発表に限る

一、受付は指定用紙にて投句箱へとする
(郵送等直接の受付は致しません)

一、締切り 新元号二年三月中旬

一、発表 新元号二年一月十五日

一、四季を通じ「御岳山を題材」とした俳句を募集しております。

大勢の方の投句をお待ちしております。

特選五席

餅投げで終る神樂や秋の空

麻生ミドリ

御嶽神社に伝承されている太太神

樂、最後にお餅が振舞われる様子。

第一、作品は未発表に限る

一、受付は指定用紙にて投句箱へとする
(郵送等直接の受付は致しません)

一、締切り 新元号二年三月中旬

一、発表 新元号二年一月十五日

一、四季を通じ「御岳山を題材」とした俳句を募集しております。

大勢の方の投句をお待ちしております。

